

いわてのNPO・ボランティア活動情報誌

いわてのNPO・ボランティア活動を
笑顔でつなぐパイン



特集 協働のすすめ

SAVE JAPANプロジェクト(損害保険ジャパン日本興亜株式会社)・NPO法人 紫波みらい研究所 02-03

団体紹介 NPO法人 高田松原を守る会04

岩手県社会福祉協議会からのお知らせ05

岩手県からのお知らせ06

助成金・イベント情報07

NPO活動交流センターからのお知らせ08

【表紙のご紹介】

いわて親子フェスティバルinアイーナ
10月18日に岩手県と青少年活動交流センター主催による「いわて親子フェスティバルinアイーナ」が、いわて県民情報交流センター(アイーナ)で行われました。大人も乗れるミニ機関車や段ボールを約50個使用した迷路などたくさんのイベントで、子ども達もお父さんとお母さんも大喜びでした!

特集 協働のすすめ

SAVE JAPANプロジェクトとは？

日本各地で、NPO・企業・行政などが、環境保全や地球温暖化に対する取り組みを積極的に行っています。しかし希少生物種の暮らす自然環境は、大きく改善されていないのが現状です。

そこで、平成23年から希少生物種と自然環境を守るため、全国各地の環境団体×各地のNPO支援センター×日本NPOセンター、そして損保ジャパン日本興亜が協働で行う活動がSAVE JAPANプロジェクトです。

このプロジェクトの一番の目的は、地域住民の皆さんが環境保全活動に参加するきっかけを提供することです。そうすることで皆さんに、自分の地域の自然環境への関心を持ってもらい、生物多様性を理解してもらうことにつながります。私たち損保ジャパン日本興亜は、「いきものが住みやすい環境づくり」を目指しています。



岩手支店支店長の本橋さんにお話をうかがいました。

SAVE JAPANプロジェクトの仕組み

この「SAVE JAPANプロジェクト」は、損保ジャパン日本興亜の自動車保険にご加入されるお客様が、保険などの契約書を紙ではなくホームページ上で閲覧できる「Web約款」を選択していただいた場合、また自動車事故の修理時にリサイクル部品を活用していただいた際に、削減できたコストの一部を元にプロジェクトを展開しています。

また、環境保全を行う団体にただ助成金を寄付するだけではなく、日本NPOセンターや各地域のNPOを支援する団体との協働で行い、実際の活動に私たちの社員も参加することで、活動の幅の広がりやお互いの情報交換につなげていきます。この活動の中で自然と触

れ合うことの素晴らしさに気付き、自分の子どもと一緒に参加した社員もいました。子どもは喜んでおり、また社員は見識が広がったと話していました。

リーディング・カンパニーの使命

私が活動に参加して感じる事は、ほたるやトンボなどの山の生き物や草木などが、以前より少なくなったことです。それと共に、網や虫かごを持って昆虫採集をする子どもの姿も以前ほど見かけなくなりました。我々が子どもの頃に経験した、あの山里の景色を今の子ども達にも体験してもらうことが、環境を考える機会にもつながると考えています。

そのため私たち損保ジャパン日本興亜は、損害保険業界のトップを走るものとして、環境保全という観点で、業界そのものをリードしていくことが使命と感じています。そして今後は、草木や小さな動物と触れ合うということだけではなく、希少動植物も含めた広い世界を体験させるように幅を広げていきたいと考えています。これからも市民の方が、楽しく喜んでいただけるイベントやサービスを提供できるよう励んでいきます。

SAVE JAPANプロジェクト ホームページ
<http://savejapan-pj.net/>

CSRと地域のNPOとの協働

NPO法人 紫波みらい研究所

平成14年設立。町内に暮らす人と人、人と食べ物、人と自然などの関わりを見直し、町内外の人々と広く連携しながら、次の世代、その次の世代の子どもたちによりよい紫波を引き継いでいくことをめざし「100年後の子どもたちによりよい紫波を残す」という未来づくりをするために設立されました。

副理事長の八重畑さんにお話をうかがいました。

ゴミを減らして地球を救う

私たちの身の回りには、便利なものがたくさんあり、物質的には豊かな生活を送っています。その反面、物を大切にしない気持ちやすぐ使い捨てるというような心の荒廃を感じるようになりました。その結果、ゴミが増加し焼却するための費用もうなぎのぼりに増えてしまいました。そのため、物を大事にするという私たちの先祖の生活に着目するようになりました。例えば、残飯や家畜の糞尿などは堆肥にすることで、ゴミは減り資源が増える循環型の社会へとなっていきます。それが結果的に地球を救うことにつながると思います。

NPO法人紫波みらい研究所では、紫波町から委託を受け、紫波町の進める「循環型まちづくり」に関する視察・研修についての受け入れコーディネートを行っています。循環型まちづくりの取り組みや森林資源循環を目指す公共施設の木造建築、有機資源循環を行うエコ3センターの見学もできます。さらに一般の方や子供たちが参加できる「環境探検隊」という、紫波町にはどんな自然があるか探してみるという事業も行っています。こちらは、色々な生き物や植物を子供たちと探して、自然を知り紫波町の魅力を感じてもらうことを意識しています。そうすることで自然について考えることができ、将来の環境を守ることに繋がっていくことを目指しています。



森の中で射的をしています。



みんなで集合。ハイ、チーズ

子供と一緒に楽しみ未来を創る

就学前の子供たちが、自然と触れ合いながら遊び、学ぶ「森の遊び場りんくる」という事業は「SAVE JAPANプロジェクト」との協働・協力をいただき実施しています。参加した子供たちが、「次はいつやるの?」とリピーターになるくらい楽しんで、みんなニコニコ笑顔になり、それをみて親御さんも笑顔になるのがとても嬉しく感じます。

私たちが大事にしていることは、参加した人たちが楽しむだけでなく、自分たちも一緒に楽しむことだと考えています。これからも一人一人が、出来ることを行い、楽しんで環境を守っていく。これが「100年後の子供たちによりよい紫波を残す」という目標につながっていかると考えています。

NPO法人 紫波みらい研究所

〒028-3318 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
TEL:019-671-2244 FAX:019-671-2243
e-mail:miraiken@shiwa-mirai.com
URL: <http://www.shiwa-mirai.com/>

団体紹介

NPO法人 高田松原を守る会

高田松原を守る会は、「高田松原の松林を守り育てる活動に積極的に参加し、次世代に伝え残す事」を目的に任意団体として活動していました。東日本大震災により高田松原は壊滅的な被害を受け、現在はその再生のために、平成27年にNPO法人を設立して活動しています。

会長の鈴木さんに活動についてお話をうかがいました



講座を受ける中学生達

失った高田松原を再生させる

私たち、「高田松原を守る会」は高田松原を美しい状態で後世に引き継ぐという思いから、平成18年3月にボランティア団体として設立しました。当初の活動は、高田松原のマツクイムシによる被害確認や落ち葉回収・清掃作業などを主な活動としてきました。2011年に発生した東日本大震災により、約7万本あった松原は津波で壊滅状態になり、私たちの会員の中にも、家を流されたり家族が亡くなった方もおりました。その後、避難所や仮設暮らしになり自分たちの生活もままならない中で、「高田松原も無くなり、守る会はもういいのでは?」という声も出ました。しかし、私たちは子どもの頃から、海水浴や花火大会、またスポーツ大会を高田松原で行ってきました。その楽しかった思い出をこれから生まれてくる人たちにも経験させたいとの思いから、高田松原を復活させようという声が多くなりました。また、偶然なことに栃木県の方が、震災の前年に高田松原の松の根を持ち帰って育てていました。その高田松原の遺伝子をもつ松苗を再生に役立ててくださいと譲り受けました。他にも松ぼっくりを集めていた方からは、松の種をたくさん頂いたり、たくさんの協力や支援を受けています。私たちはその松苗を育て、高田松原に植栽することが、主な活動となっています。

NPO法人になる意味

私たち「高田松原を守る会」が活動を開始してから、全国から多くの支援や寄付金を頂いてきました。みなさんから頂いた寄付金の使途を明確にし、支援される多くの方々の願いに応える社会的責任があります。また事業の多角化や行政と連携する場合にも、NPO法人になることでよりよいものになると思い、法人設立に至りました。

高田松原の未来

育てた松の植栽が平成29年度から始まり、それが立派な林になるには50年ほどかかります。守る会の平均年齢は60代なので、その姿を見ることは難しいため、若い方の参加が必要になります。陸前高田市近郊の小中学生や高校生、一般の方などにも、私たちの活動紹介などを積極的に行っていきたいと考えています。

陸前高田市は、震災前から人口が4,000人ほど減少してしまいました。高田松原を再生させることで、観光客などの交流人口を増やし地域活性化につなげたいと思います。みなさんもぜひ、高田松原まで足を運んでいただきたいです。



高田松原を再生させるボランティア

NPO法人 高田松原を守る会

岩手県陸前高田市米崎町字地竹沢87-4
TEL・FAX: 0192-55-4843

岩手県社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センターからのお知らせ

ボランティア豆知識

《ボランティア活動保険について》

～加入編②・補償範囲編②～

ボランティア活動を安心・安全に行っていただくため、活動中のさまざまな事故によるケガや損害賠償責任を補償するボランティア活動保険について、よくあるご質問をご紹介します。

(加入編②)

☑親子でボランティア活動を行っています
が、小・中学生も加入できますか?また赤ちゃんはどうですか?

▲小・中学生も、本人の意思でボランティア活動を行う場合は、加入できます。

赤ちゃんについては、本人の意思が確認できないので、ボランティア保険の対象にはなりません。

☑学校の単位取得の関係で、福祉施設でボランティア活動をすれば単位が取得できますが、この場合はボランティア保険に加入できますか?

▲単位、資格、免許などの取得のために行うボランティア活動は、自発的な意思によるものとは異なるので対象になりません。

(補償範囲編②)

☑防犯活動の一環として行われている子どもの登下校の見守り等では、責任者が学校の先生や父母会であったりする場合もありますが、対象になりますか?

▲対象になります。活動責任者が誰かは問いません。ただし、学校の先生が勤務時間中や仕事の延長として活動する場合は補償の対象にはなりません。

☑台風災害時のボランティア活動は、天災タイプの対象になりますか?

▲台風などの風水害による活動中のケガは、基

本タイプで補償されます。

天災タイプに加入していないと補償されないのは、ボランティア活動中に①地震、②噴火、③津波によりケガをした場合です。

☑社会福祉協議会の業務のお手伝い(配食サービスなど)や、福祉施設の業務のお手伝いをしているときに、利用者にケガをさせてしまった場合は対象になりますか?

▲一般的には、使用者である社会福祉協議会や福祉施設が利用者に対して損害賠償責任を負うこととなり、それぞれ「社協の保険」、「福祉サービス総合補償」、「しせつの損害補償」で補償されることになります。

ただし、ボランティア個人の過失で責任が問われた場合には、ボランティア活動保険で補償されます。

(その他)

☑他県で活動中に事故が発生した場合、事故報告はどこにしたらよいでしょうか?

▲事故が発生した場合は、加入手続きをした社会福祉協議会に報告してください。

お問合せ先

岩手県社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター
TEL: 019-637-4483
FAX: 019-637-7592

NPOの運営支援にかかる講習会等の開催について

平成27年度復興支援基盤強化事業の一環として、NPO法人等向け講座及び講習会を開催します。
NPO法人の税務や新会計基準を詳しく知りたい方、NPO法人の基礎知識を身につけたい方など、お気軽にご参加ください。

■NPO法人の運営に係る基礎講習会

開催日	会 場	内 容
27年12月15日(火)	いわて県民情報交流センター (アイーナ)	○NPOの総務・労務 13:00～15:00 ○NPO会計の実務等 15:00～16:00 ○個別相談会 16:00～17:00

■NPO法人会計講座

開催日	会 場	内 容
27年11月24日(火)	釜石地区合同庁舎	○NPO法人の税務 ○NPO新会計基準 ○NPO会計ソフトの実技指導 ○個別相談会 各日13:00～16:00
27年12月4日(金)	宮古地区合同庁舎	
28年1月22日(金)	大船渡地区合同庁舎	
28年2月3日(水)	いわて県民情報交流センター(アイーナ)	

◆問い合わせ・申込み

NPO法人シニアパワーいわて (FAX:019-626-0098 E-mail:zensyo.n@gmail.com)
このほか、「寄附募集セミナー・認定NPO法人セミナー」(盛岡会場)の開催を平成28年2月に予定しております。

「NPO法人カシオペア市民情報ネットワーク」が 仮認定NPO法人となりました!

これで県内の認定NPO法人は9法人、仮認定NPO法人は2法人となりました。

認定NPO法人制度を活用し、復興支援や地域づくりなどのNPO活動を促進させましょう。

○「NPO法人カシオペア市民情報ネットワーク」

代表者:理事長 中田 勇司

住 所:岩手県二戸市石切所字森合68番地

TEL:0195-43-3461 FAX:0195-43-3468

法人設立目的:カシオペア連邦(一戸町・二戸市・九戸村・軽米町)のコミュニティFM放送事業を行い、地域社会の活性化に貢献することを目的とする。

認定期間:平成27年10月22日～平成30年10月21日(3



認定書交付式の様子

【お問合せ先】認定NPO法人専門員による相談窓口

平日 午前9時～午後4時(ただし金曜日は午後3時まで) 〒020-8570 盛岡市内丸10-1
TEL:019-629-5199 FAX:019-629-5354 E-mail:AC0006@pref.iwate.jp

助成金 情報

公益財団法人 朝日新聞 文化財団より 芸術活動への助成 のお知らせ

【対 象】芸術的水準が高いと認められ、原則としてプロ、あるいはプロを目指す芸術家が出演者、出品者として行う事業で次のいずれかの要件を満たす必要があります。

- ・芸術上の啓蒙普及的意義のあるもの
- ・芸術家に発表の機会を広げるもの
- ・地域の芸術文化向上に資するもの

【助成金】1件あたり10万円～100万円です。
助成総額は、音楽・美術両部門で総額2500万円を予定しています。

【締 切】平成27年12月10日(木)

URL: <http://www.asahizaidan.or.jp/grant/grant01.html>



公益財団法人 日本社会福祉弘済会より 『平成28年度 社会福祉助成事業』 のお知らせ

【対 象】社会福祉関係者の資質向上に関する研修や研究

【助成金】申請金額の80%以内かつ50万円以内

【締 切】平成27年12月15日(火)

URL: <http://www.nisshasai.jp/fukusijyoseijigyo/jyoseiyokou-H28.html>

一般財団法人 ゆうちょ財団より 『平成28年度金融相談等活動助成 事業募集』のお知らせ

【対 象】高齢者ならびに大規模災害の被災者等を対象とした金融相談及び 金融教育等に関する活動

【助成金】10万円

【締 切】平成28年1月12日(火)

URL: http://www.yu-cho-f.jp/kyotoku/kyotoku_index.htm

盛岡市役所市民部市民協働推進課より

「支える人材養成研修 つなげる役割、その秘訣」のご案内

【日 時】平成27年12月15日(火) 14:00～15:30

【会 場】プラザおでつて 3階 大会議室

【講 師】岩手ビッグブルズチームオペレーター 鈴木理恵子さん

【定 員】50人 事前申込が必要です

【受講料】無料 URL: <http://www.city.morioka.iwate.jp/>

イベント 情報

もりおか女性センター若者×仕事の基礎ゼミナール〈連続講座〉

【第1回講座】12月5日(土)13:00～15:30 【第2回講座】12月12日(土)13:00～15:30

【会 場】生活アトリエ(プラザおでつて5階) 【対象・定員】30歳くらいまでの若者 10人 【参加料】無料

【申込・問合せ先】もりおか女性センター TEL:019-604-3303 URL: <http://mjc.sankaku-npo.jp>

マイナンバー(社会保障・税番号)編

Q NPO法人はマイナンバーを使うことがありますか？

A マイナンバーには、個人に割り振られる12桁の「個人番号」と法人に割り振られる13桁の「法人番号」があります。NPO法人も、職員を雇用している場合、健康保険や厚生年金の加入、また、支払っている給料から源泉徴収して税金を納めたりしています。そのため平成28年1月以降(厚生年金、健康保険は平成29年1月以降)は、これらの手続を行うためにマイナンバーが必要となります。また、扶養家族がある方は、勤務先にご本人やご家族のマイナンバーを提示する必要があります。さらに、NPO法人が外部の方に講演や原稿の執筆を依頼し、報酬を支払う場合、報酬から税金の源泉徴収をしなければいけません。そのため、こうした外部の方からもマイナンバーを提供してもらう必要があります。

Q そのマイナンバーは口頭で確認してもいいのですか？

A 従業員の方からマイナンバーを取得するときには、事前に利用目的を示さなければなりません。またマイナンバーを取得するときは、なりすまし等を防止するため、口頭確認ではなく個人番号カード(平成28年1月から本人の申請により交付される顔写真付きのICカード)もしくは、個人番号が分かる書類と顔写真付きの書類など複数の書類による確認が必要になります。

Q 平成28年1月の制度が始まる前にマイナンバーを取得しなければいけませんか？

A 法人がマイナンバーを使用する目的は、税金や社会保障に関する場合なので、すぐに取得する必要はありません。関連する書類を提出するときまでに、取得していれば構いません。

マイナンバー(社会保障・税番号)制度に関するお問合せ(内閣府大臣官房番号制度担当室)

0120-95-0178(無料) 繋がらない場合050-3816-9405(有料)

平日9時30分～22時00分 土日祝9時30分～17時30分(12月29日～1月3日を除く)

マイナンバーホームページ

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

編集後記

ラグビーのワールドカップは、日本代表の活躍で大盛り上がりになりました。4年後のワールドカップは、釜石でも試合が行われるので、今から英語を勉強して語学ボランティアとしてがんばろうかな。メイアイヘルプユ〜。

(担当 イハタ)

NPO活動交流センターのHPでは、様々なイベント情報や助成金情報を掲載しています。

みなさまからの市民活動情報やPINへの取材依頼もお寄せください。

URL: <http://www.aiinanpo.org/> E-mail: n-katsu@aiina.jp

アイーナ N 活

検索

 **Twitter フォローお願いします!!!**

<https://twitter.com/aiinaNPO>

 **Facebook いいねお願いします!!!**

<https://www.facebook.com/aiinaNPO>